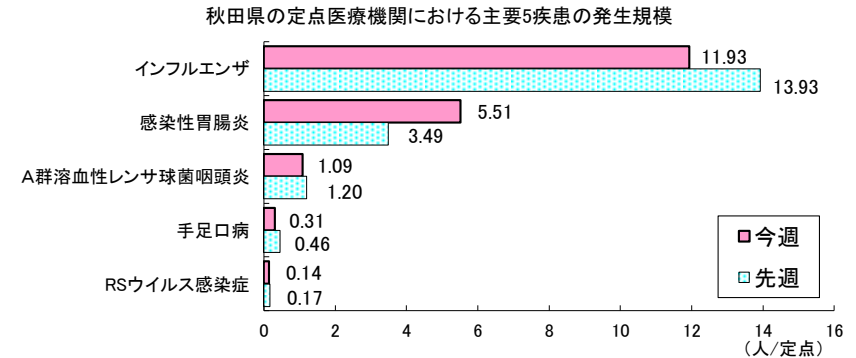




【第5週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

- インフルエンザは、県全体で14%減少しています。保健所別では、大館、北秋田、能代、秋田中央で増加、秋田市、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で1.6倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、由利本荘、横手、湯沢で増加、大館、能代、秋田中央、大仙で減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で9%減少しています。保健所別では、北秋田、秋田中央で増加、秋田市で同規模、大館、大仙、横手、湯沢で減少しています。



発生報告

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減			
RSウイルス感染症	0.17	0.14	↘	0.43	0.14	↘				0.50		↘					0.25	↗	0.25	0.50	↗				0.33	↗				
インフルエンザ	13.93	11.93	↘	14.27	12.18	↘	8.14	12.57	↗	16.33	21.00	↗	26.25	26.75	↗	12.67	16.33	↗	14.50	10.17	↘	9.00	4.43	↘	8.20	5.80	↘	23.40	6.60	↘
咽頭結膜熱	0.17	0.09	↘	0.57	0.29	↘	0.25		↘										0.25		↘								0.25	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.20	1.09	↘	1.71	1.71		1.25	1.00	↘		1.50	↗				3.50	3.75	↗				0.75	0.50	↘	1.00		↘	1.25	0.50	↘
感染性胃腸炎	3.49	5.51	↗	7.29	11.57	↗	4.00	3.75	↘	2.00	7.00	↗	3.00	2.67	↘	3.75	3.50	↘	1.25	6.50	↗	2.25	2.00	↘	1.00	5.00	↗	2.50	3.00	↗
水痘	0.20	0.06	↘	0.29		↘	0.50		↘											0.25	↗	0.50		↘				0.25	↘	
手足口病	0.46	0.31	↘	1.00		↘		0.25	↗											0.25	↗				0.33	0.67	↗	2.00	1.75	↘
伝染性紅斑	0.03	0.06	↗		0.29	↗																0.25		↘						
突発性発しん	0.11	0.14	↗		0.29	↗		0.25	↗	1.00	0.50	↘													0.33		↘	0.25	0.25	
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎		0.06	↗		0.14	↗											0.25	↗												
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*											*	*	
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.13	0.13		1.00		↘										*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大館保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が能代保健所管内から1人、百日咳が北秋田保健所管内から1人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-4週	5週	
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	1047	3	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	1		
	細菌性赤痢	12		
	腸管出血性大腸菌感染症	83	3	1
	腸チフス	2		
四類	パラチフス			
	E型肝炎	33		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	18		
	エキノкокクス症	2		
	黄熱			
	オウム病	1		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	1		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	(人)		
		1週-4週	5週	
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	1		
	つつが虫病	49		
	デング熱	15		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	3		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	4		
	野兔病			
	ライム病	1		
	五類	リッサウイルス感染症		
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症		105	1	
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
アメーバ赤痢		35		
ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)		10		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		95		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)				
急性脳炎	110	4		
クリプトスポリジウム症				
クロイツフェルト・ヤコブ病	9			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	76	1		
後天性免疫不全症候群	47			
ジアルジア症	1			
侵襲性インフルエンザ菌感染症	57			
侵襲性髄膜炎菌感染症	7			
侵襲性肺炎球菌感染症	266	1	1	
水痘(入院例に限る)	34	1		
先天性風しん症候群	1			
梅毒	314	1		
播種性クリプトコックス症	8	1		
破傷風	5			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	7			
百日咳	529	1	2	
風しん	28			
麻しん	3			
薬剤耐性アシネトバクター感染症				

トピック

<家庭等でのレジオネラ症対策について>

冬季は、乾燥やインフルエンザの予防対策に加湿器を使用している家庭や施設等も多いと思います。しかし、衛生管理が悪いとタンク内でレジオネラ症の原因となるレジオネラ属菌が増殖することがあります。レジオネラ症の患者報告数は、全国的に年々増加しています(図)。家庭等でも、感染予防に努めましょう。

■症状

レジオネラ症は「レジオネラ肺炎」と「ポンティアック熱」の二つに分けられます。レジオネラ肺炎は、免疫力の低下した人が発症しやすく、特に高齢者や悪性疾患等により免疫力の低下した人、免疫がまだ十分な新生児等では、重症化する危険性が高いため注意が必要です。ポンティアック熱は、発熱、悪寒、筋肉痛といった症状がでますが、通常は一過性で治癒します。

■予防対策

レジオネラ属菌は、もともと土壌や自然環境の水に存在する細菌です。通常、ヒトからヒトへは感染せず、レジオネラ属菌を含む土ぼこりやエアロゾル(細かい水滴)等を吸い込むことで感染します。感染予防のため、次のことに注意しましょう。

- ・加湿器を使用する際はタンクをこまめに清掃し、新しい水を入れ、水の継ぎ足しはしない。使用しない時は水を抜いて乾燥させる。
- ・循環型の24時間風呂を使用している場合は、循環装置の清掃や浴槽水の交換を定期的に行う。
- ・農作業や散水作業の際には、マスクを着用し、土ぼこりやエアロゾルの吸入を防ぐ。

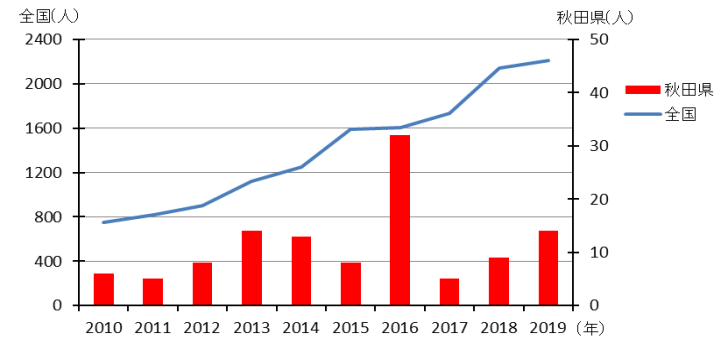


図 全国・秋田県におけるレジオネラ症の患者報告数の推移



2019年/2020年シーズン (2019年第36週：9月2日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

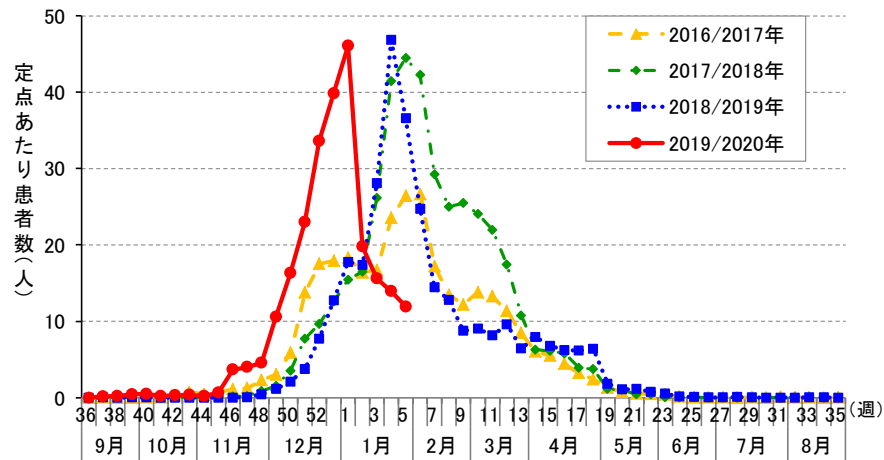


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表 2019/2020シーズン 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)					
秋田県			全国		
1/20～1/26 (4週)	1/27～2/2 (5週)	累計	1/13～1/19 (3週)	1/20～1/26 (4週)	累計
17	15	290	1,216	1,074	10,837

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

インフルエンザの流行が継続しています。手洗い等の感染予防を心がけましょう。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生の報告が9件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	型
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	秋田市	上北手保育園	1/27	119名のうち 12名	27名のうち 0名	12名	1/20～1/27	A
2	秋田市	城南園	1/27	70名のうち 15名	25名のうち 2名	17名	1/23～1/27	A
3	鹿角市	毛馬内保育園	1/28	116名のうち 10名	33名のうち 0名	10名	1/22～1/27	A
4	能代市	さかき幼稚園	1/28	123名のうち 11名	16名のうち 0名	11名	1/12～1/28	A
5	潟上市	若竹幼児教育センター	1/28	94名のうち 12名	32名のうち 1名	13名	1/22～1/28	A
6	秋田市	みどり保育園	1/28	75名のうち 13名	23名のうち 1名	14名	1/20～1/28	A
7	秋田市	日新保育園	1/30	168名のうち 12名	37名のうち 0名	12名	1/27～1/30	A
8	北秋田市	厚生園	1/31	79名のうち 4名	45名のうち 6名	10名	1/27～1/31	A
9	由利本荘市	介護老人保健施設「しようわ」	2/1	99名のうち 9名	65名のうち 5名	14名	1/26～2/1	A

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(2月2日時点)の報告数

99施設：社会福祉施設15、保育所等83、病院1

※社会福祉施設(老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設)等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



感染性胃腸炎情報

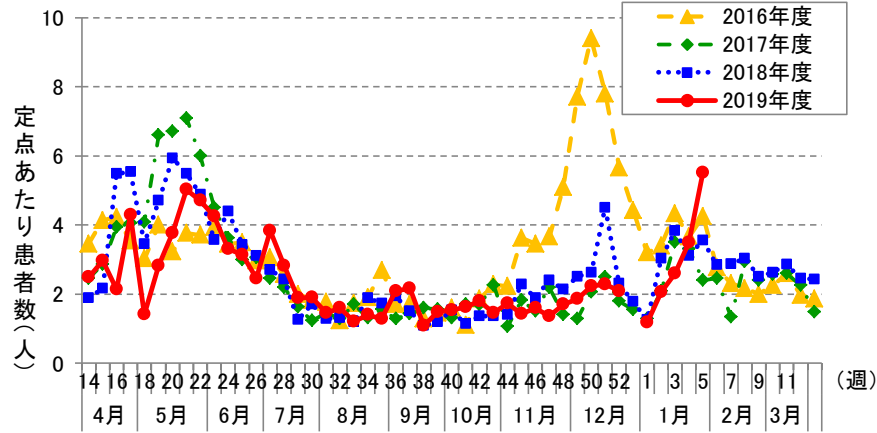


図 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

感染性胃腸炎の集団発生発生状況

感染性胃腸炎の集団発生報告が6件ありました。

No.	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児、入所者等)	職員	計			
1	由利本荘市	下川大内保育園	1/27	55名のうち 14名	19名のうち 0名	14名	1/20 ~ 1/27	腹痛、嘔吐、下痢、発熱	ノロウイルス検出
2	男鹿市	若美南保育園	1/28	60名のうち 10名	21名のうち 0名	10名	1/18 ~ 1/28	下痢、嘔吐	アデノウイルス検出
3	秋田市	こども園あきた風の遊育舎	1/28	242名のうち 24名	68名のうち 3名	27名	1/15 ~ 1/28	嘔吐、下痢、発熱	ノロウイルス検出
4	由利本荘市	内越保育園	1/28	168名のうち 14名	40名のうち 0名	14名	1/24 ~ 1/28	嘔吐、下痢、発熱	
5	由利本荘市	石脇西保育園	1/29	194名のうち 22名	53名のうち 0名	22名	1/17 ~ 1/28	嘔吐、下痢	
6	秋田市	勝平保育園	1/30	170名のうち 26名	37名のうち 1名	27名	1/20 ~ 1/30	嘔吐、下痢、発熱	ノロウイルス検出

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

○2019年度(2月2日時点)の報告数

41施設：社会福祉施設3、保育所等35、病院1、その他2

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

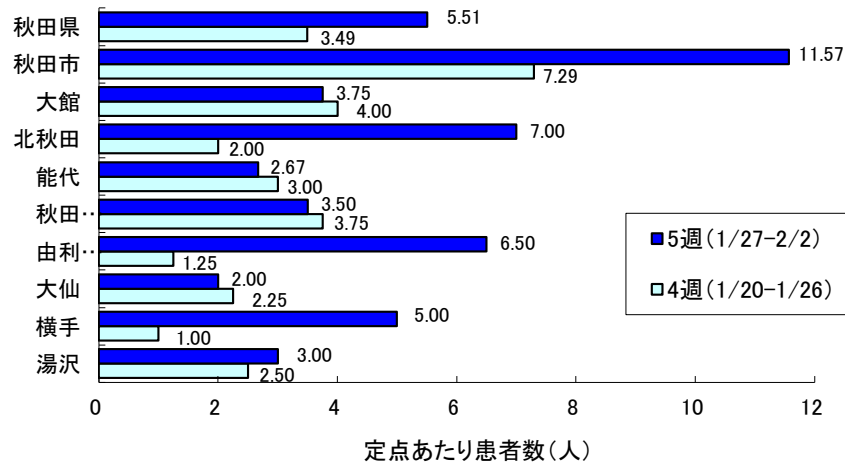


図 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	大館(12.57)、北秋田(21.00)	秋田市(12.18)、能代(26.75)、 秋田中央(16.33)、由利本荘(10.17)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		